

私が高松高校生活において気をつけていたこと
 は、あたり前のことはきちんとして、そして、
 ことごとく、あたり前のことと、いろいろな、
 習さ毎日して提出期限までに終わらせ、授業
 は真面目に受けると、いろいろなことごとく、
 口でいうのは簡単ですが、実行するのは難し
 いです。私は三年間部活をしていて忙しか
 た、で正直これに継続するのは大変でした。が
 絶対第一志望に行きたい、という気持ち
 があつたので頑張りました。

また部活と勉強を両立させるにあたって気
 をつけていたことは、部活を勉強の理由にせ
 ん、勉強を部活の理由にしないうことごとく。
 私が高松から学校まで遠く帰りも遅かっ
 た、眠く作ることもあれば、ありました。が、
 習だけ、はして、いまして、た、どうして眠
 仮眠をとるか、早めに寝て次の日の朝学校で
 して、いまして、た、大会前、は、休日、も、自
 間の、あまり取れなかつたので、試合会場へ
 電車の中や休憩時間に進めていました。

入学大学： 大阪 大学 外国語 学部 ビルマ語 学科 卒業高校名： 松阪 高校 名前：

部活を引退してからは周りももう受験勉強
 の雰囲気があったので意外とすんなり勉強を
 始めることに加えました。特に重要なのはや
 はり夏休みの勉強時間が多い
 ったので普段はあまり受けることのできない
 又一パー講師の講義も多く受けることのでき
 ました。学校で友人と勉強したりとも充実
 していました。しかし模試の結果などは思う
 ように伸びずとも不悔でした。
 中で唯一着気持ちは揺らいだのはセニター
 試験の直後でした。数学で失敗し、第一志望
 だったスペイン語学科は絶望的でした。大学
 を凌駕することも考えました。第一志望は絶
 対にありたくはない。挑戦するのとに
 ました。そこからはもう前だけをを見てやる
 とは全てやめたので、もしおちていても後悔
 は何かつたと思いません。
 このように受験を通り、私は諦めたいこ
 とがどれほどあったかを知りました。これか
 ら
 ら
 送られるよう、日々努力

